

第3章 心を育むまちづくり –教育・文化・スポーツ

子どもたちが心身ともに成長できる多様な学びのあるまち、誰もが生涯を通してともに学び、ともに築くまち、地域の文化を継承していくまちをつくります。

- 「学びあい 支えあい 心を育むまちづくり」の理念に基づき、多様な子どもの心に寄り添い、誰一人取り残すことのない教育を推進し、未来に誇れる「阿見町らしい教育」を目指します。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。さらに、優れた高等教育機関の集積を活かした高度な学習機会により、独自性の高い学びの充実を目指します。
- 誰もが自分らしく、安心して学べるよう、多様な学びの環境の充実を目指します。
- 人生100年時代を豊かに生きていくため、「一人いち学習・いちスポーツ・いちボランティア」を理念とし、町民が生涯にわたっていつでもどこでも誰でも学べる取組を「伝え合う」「支え合う」「高め合う」視点を持って推進することで、「ともに学び ともに築く 輝きのあるまち」を目指します。
- 世代を超えて培われてきた阿見町の自然・風土、歴史を、かけがえのない財産として大切に継承するとともに、新たな阿見町らしい文化をまちの魅力として発信するなど、自然と文化を守り育て、活かすまちを目指します。

細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
学校教育の充実	3111 確かな学力の定着を目指した教育の推進	<p>◇小学校の外国語活動の授業に外国語指導助手（ALT）を派遣します。また、小学校ではタブレットを活用した対話アプリを活用し、中学校では英語プレゼンテーションフォーラムを開催します。</p> <p>◇小学校に専科教員を配置し、教職員の支援体制の充実を図るとともに、主に高学年において、教科担任制を推進します。</p> <p>◇ICT機器の積極的な活用やオンライン学習ソフトの活用により、教育のデジタル化を積極的に推進します。</p>		<p>SDGsと結び付けた表記はどうか。教育と学習の機会、ゴール4、心理的な健康の支援はゴール3とゴール6になると思います。</p> <p>「チームとしての学校」が機能するためには、学校の情報状況をいかに保護者や地域にオープンにできるか、にかかっている。ウェブサイトで「こんな行事がありました」だけでなく、「こんな手伝い、助けを求めています」という常設頁を設けて、ボランティアや学生アルバイトを募集してはどうか。特に学生にとっては、商業施設で働くよりも安全安心で、かつ将来の進路考慮にも影響することで、教職員の人材確保にもつながる可能性を期待できるのではないかと。教員が、指導する教科に関連して豊かな経験をもつことが重要である。社会の教員は、様々な地域に出かけてそこでの発見や驚きを生徒に伝え、数学教員はデータから見える面白い傾向を発見し、その現場を体験する機会をもつなど、研修プログラムというよりは、教師の人間的な幅を広げる機会を十分に確保することが重要と思われる。</p> <p>「主に高学年において、教科担任制を推進します。」を、「主に高学年において、教科担任制を導入・推進します。」と修正してはどうか。</p> <p>外国語教育を実施後、どのような成果、または外国語を活かす機会があるのかまで明記されるのはいかがでしょうか。 理由:ただ授業を行っているだけでは、何十年前と何も変化していないと考えるからです。</p> <p>ただし、以下について検討していただきたい。 「学力を支える教師力の向上」について、具体的な成果も追記してはいかがでしょうか。(例:教師の働き方が改革されている。)成果達成のための指標を考え、目標管理されてはいかがでしょうか。</p> <p>「小学校の外国語教育の充実」と並んで、「小学校の国語の教育の充実」が必要ではないか。 理由:母語をしっかり学び、思考力や想像力を深めるため。</p> <p>「主に高学年において、教科担任制を推進します。」について、小学校低学年においても教科担任制を取り入れる必要があると思われる。また、それが難しい場合は、各クラス担任と副担任を置く必要がある。 理由:小学校低学年であっても、担任の先生と合わず、不登校になってしまう場合がある。教科担任制や副担任制を取り入れることで、それを予防することになると思われるから。</p>	<p>SDGsのマークは仮置きであり、ゴール11と決定したわけではございません。今後の作業の中で、細節ごとに記載内容に応じたゴールの設定を予定しております。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3112 学力を支える教師力の向上	<p>◇教職員の指導力の向上に向け、研修会等への参加を促進するとともに、阿見町の授業スタンダード（課題提示の工夫、学習内容の振り返り等）による授業改善を推進します。</p> <p>◇教職員が授業で使用する教材等の印刷や物品の準備、教材の整理等を行う学校サポーターの配置を推進し、教職員の支援体制の充実を図ります。</p> <p>◇部活動の地域移行や学校行事の精選、スリム化を推進し、教職員の長時間労働の是正と負担軽減を図ります。</p> <p>◇小中学校におけるICT機器を活用した授業へのICT支援員の配置を推進し、教職員の支援体制の充実を図ります。</p>		<p>今後10年間はICT機器の活用は大きく変化をしていく。子どもたちの成長に伴い、効果的な活用を研究し能力を引き出していくべきである。</p> <p>研修会への参加等はかえって先生方の負担を増してしまう可能性もあるので、より実質的な形での実施が必要であろう。研修のあり方などのアンケートを先生方取るなど必要で、研修そのものを否定するわけではないが、研修実施ありきになるのは好ましくない。 部活動の地域移行や学校行事の精選、スリム化は、是非、推進いただきたい。 PTAなどに関わる行事や業務もスリム化を検討することが望ましい。</p> <p>長時間労働の是正について、「教職員の勤怠管理を明確に行います」と記載してはどうか。</p> <p>個別施策の一つ目と三つ目で矛盾するのではないかと。 理由:研修や授業スタンダードはととも必要だと思います。まずは教職員にもっとゆとりが必要なのではないでしょうか。全学年各クラス副担任制にすることや各クラス20人までにするなど、担任の負担を減らすことが先決のように思います。 学校サポーターは、一人では足りないのでは？学校の規模によって配置する人数を変更する必要がある。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>

細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
(続) 学校教育の充実	3113 自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進	<p>◇小中学校、幼稚園、保育所、関係機関等との連携を図りながら、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導と相談体制の充実に努めます。</p> <p>◇個別の支援を必要とする児童生徒の学校生活を支援するため、必要に応じて特別支援教育支援員を配置します。</p> <p>◇特別支援教育に係る教職員の理解を促すため、美浦特別支援学校の巡回相談の積極的な活用を図ります。</p>		<p>これらの施策については、地域とのコミュニケーションと人間関係を維持することが重要である。自身も地域の「おやじの会」に所属して、PTAとも関係しながら無理のない活動をモットーに、小中学校での行事の手伝いなどを行っている。父親同士のコミュニケーションや、ボランティア、学校のDXなども手伝う人もいる。初等教育に父親をいかに巻き込むかは重要な課題ではないか。</p> <p>この10年間で、特別支援の児童生徒が6.5倍から7倍くらいに増加している。この原因は、幼児期の環境が子どもたちに大いに影響を与えている。この原因と問題解決に向けてどのようにしていくのか？幼児期における子どもたちの置かれた環境と、保育園幼稚園での教育環境の質を向上させていくことを加えるべきである。</p> <p>特別支援教育支援員の配置人数が少なすぎる。予算立ての検討をしてほしい。</p> <p>「療養支援、相談体制が確立できる地域づくりを目指します。」と記載してはどうか。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3114 学習環境と相談・支援体制の充実	<p>◇人口増加地区においては、児童生徒数の急増による教室不足を回避するため、児童生徒数将来推計を踏まえ、必要な校舎の増改築を行います。</p> <p>◇教育相談センターと小・中学校との連携を強化し、不登校支援の充実に努めます。</p> <p>◇不登校、虐待、ヤングケアラー等の問題解決を図るため、県派遣のスクールカウンセラー※に加え町独自のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー※の配置を継続するとともに、一人一台タブレット端末を活用したオンライン相談窓口を開設し、教育相談体制の充実に努めます。</p>		<p>スクールカウンセラーの数が少ない。小学校では週に数回の相談日であるため順番待ちとなり、タイムリーな相談ができない現状。</p> <p>その他で、オンライン相談窓口などの設置は、とても良いと思う。が、その先の受け皿が必要。相談で終わることなく、具体的な解決方法の選択肢が必要と考えます。</p> <p>スクールカウンセラーにつながるハードルをもう少し低くしていただきたい。メンタルフレンドのような存在も、他県のように考えていただきたいです。</p> <p>不登校支援について、当事者や専門家と話し合いが必要である。フリースクールが町内に必要である。 理由:まず教育相談センターと小学校の連携は取れているのでしょうか？不登校になった際、学校からスクールカウンセラーの案内はありましたが、教育相談センターの案内はありませんでした。やすらぎの園や校内フリースクールは、元校長先生が支援員をされており学習がメインなので、そこが無理になってしまうと町内にフリースクールがないため、ほとんどの児童は家庭内で過ごすこととなります。不登校の子どもたちには、まず安心できる居場所が必要なので、町内に自由に過ごせる不登校の子どもたちの居場所づくりは急務だと考えます。こういった当事者の思いを汲み取っていただき、不登校対策に取り入れていただきたいので、町内の不登校支援について話し合いを行う際には、ぜひ当事者や専門家と交えて行っていただきたいと考えます。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。 ※メンタルフレンドは、児童相談所がかかわっているひきこもり、不登校などの子どもに対して、その兄、姉に相当する世代で児童福祉に理解と情熱を有する大学生などを子どもの心の友(メンタルフレンド)としてその家族等に派遣し、その子どもとのふれあいを通じて子どもの健全な育成を援助するものです。(神奈川県ホームページより引用)</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3115 地域に開かれた学校づくりの推進	<p>◇学校・保護者・地域が一体となって、特色ある学校づくりを進めていけるよう支援します。</p> <p>◇学校の抱える諸問題の解決や児童生徒の望ましい成長をより一層支援するために、学校と地域が学校運営の目標・ビジョンを共有し、共に力を合わせて学校運営に取り組めるよう、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を拡充します。</p>		<p>コミュニティ・スクールの計画に関しては生涯学習課が担当では推進が難しい。教育長特命として専門知識と実務経験のあるアドバイザー、予算、人員をつけないと進んでいかない。 ※不登校児童生徒が増加する中、文部科学省では「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)を取りまとめました。関係各位におかれては、本プランも踏まえ、不登校対策の速やかな推進をお願いいたします。と本年3月31日に文科省から各自治体に通知が来ている。このプランの内容を計画に明記し、不登校児童生徒に対する対策を充実させることが求められる。</p> <p>コミュニティ・スクールや放課後子どもプランにおいてNPO団体などに協力や委託をすることを検討することが望ましい。</p> <p>「学校と地域の活性化を図り、コミュニティづくりを推進します。」と記載してはどうか。</p> <p>「コミュニティスクール事業」に「地域防災」の視点を加えてはどうか。 理由:地域の人たちと子どもたちが協力して防災訓練を行えば、地域コミュニケーションが深まるため。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3116 放課後子どもプランの充実	<p>◇子どもたちの健やかな成長に寄与する放課後子どもプランの充実を図り、放課後の子どもたちの安全な居場所づくりを推進します。</p> <p>◇入会児童の増加等により活動スペースが不足する際は、学校、教育委員会と連携し、学校教育に支障が生じない限りにおいて、学校施設の活用を促進します。</p> <p>◇本郷小学校の児童数増加に備え、本郷小学校区放課後児童クラブを建設します。</p>		<p>コミュニティ・スクールや放課後子どもプランにおいてNPO団体などに協力や委託をすることを検討することが望ましい。</p> <p>「放課後の子どもたちの安全な居場所づくりを推進します。」を、「放課後の子どもたちの安全な居場所づくりと就労家庭の子育て支援を充実します。」と修正してはどうか。 「本郷小学校区放課後児童クラブを建設します。」を、「本郷小学校区放課後児童クラブを令和7年度開設を目指します。」と修正してはどうか。</p> <p>(二つ上の項目の続き) 不登校の家庭への経済的支援が必要。 理由:町内の不登校児童のほとんどは家庭内で過ごしています。そのため働きにいけない場合も多く、家計がひっ迫しています。家庭教師を利用したり、オンライン学習を利用したり、習い事の費用やお昼の用意も大変で、フリースクールなどを利用した場合その費用も高みです。目指すまちの姿に「すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び」とありますように、町内の不登校児童も望んだ学びができるように経済的支援は不可欠と考えます。</p> <p>コミュニティスクールの拡充について、町内全校へ。 理由:小学校に付き添い登校している保護者の方から、毎日学校にいと様々な問題が見えてくると聞きました。教職員と児童という閉鎖的な空間では、もし問題が起こっても隠蔽することが可能です。保護者やボランティアなど様々な大人が入ることで、もっと和やかな空間になり子どもたちがのびのびできるのではと考えます。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>

細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
	3121 健やかな体の育成	<p>◇児童生徒の規則正しい食生活を通じて健康な体づくりを促進するため、学校保健の充実を図ります。</p> <p>◇児童生徒がスポーツを通じて運動に親しむ資質や能力の基礎をつくるため、学校体育の充実を図ります。</p> <p>◇食に対する正しい知識の定着させるため、地産地消の観点から食育を推進し、安全でおいしい給食を提供します。</p>		<p>ヤングケアラーの状況は。</p> <p>学校給食のあり方については、検証する必要がある。アンケート調査の分析と食品残渣の問題。また、地産地消から地産地消への検討も必要である。茨城大学との連携が求められる。</p> <p>「食の安全」は、現在ではアレルギー対応が重要と思われる。さめ細やかな対応と、事故対策を事前に固めておくことがポイントと思われる。</p> <p>「学校・家庭・地域の連携により食育の推進を図ります。」と記載してはどうか。</p> <p>規則正しい食生活を通じて健康な体づくりを促進するために、「食」の提供はどうか。例えば、「スクールモーニングカフェ」(仮称)を開設、授業前の朝に、牛乳とか果物とかビスケットとか簡単な「食」をフリーで提供。家庭の事情で朝食抜きの子が食べられるように。(フードバンクとの連携もありか)</p> <p>熱中症対策として、小中学生の水筒持参しても足りない子どもたちがいるので、補充できるように考えてほしいです。</p> <p>地産地消を取り入れていただけることは大変良いと考えますが、さらにもう一步進めてオーガニック給食を行うことが必要と考えます。 理由:化学肥料や農業について小さい頃から学ぶことは健康の長寿寿命化に繋がると考える。また、美味しい野菜を使用することによって、添加物や化学調味料の使用も控えることができる。子どもの頃から美味しく安全な食事を食べることが食育の推進に繋がると考えます。</p>	<p>子ども家庭課と連携して情報共有を図っています。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
児童生徒の健康管理と安全対策	3122 安全・安心な教育環境の整備	<p>◇児童に反射シール、生徒に反射タスキを配布し、通学時の安全を確保します。また、中学校自転車通学者に対してヘルメット購入費の一部を補助するなど、自転車通学者の安全を確保します。</p> <p>◇通学路交通安全プログラムと防犯プランに基づき、登下校時の安全対策に取り組みます。</p> <p>◇オンライン授業などの充実を図り、感染症流行時等における学習の継続性を確保します。</p> <p>◇防犯カメラの設置、緊急情報システムの充実などにより学校の防犯力を強化し、緊急事態に備えた危機管理体制を一層強化します。</p>		<p>オンライン授業については、学校に通いにくい児童生徒には積極的に導入していくべきではないか。最悪、「録画した授業+理解を確かめる課題」のセットでも対応できるようになれば、疾病や不登校などにも柔軟に対応できるようになる。対面の有効性は認めるが、多様化する児童生徒に対応するためにも、授業形態の多様化は喫緊の課題であろう。</p> <p>中学校自転車通学者に対して、「自転車の安全な乗り方・マナーを学んでもらう」のはどうか。将来、安心安全な交通社会の一員となれるように。「自転車乗り方競技会」を開いてはどうか。</p> <p>中学校の自転車は、各校で規定があるようだが、そのため高校入学の際は別のものに買い替える場合が多いようだ。3年しか使用しないものに5万円近く払わなければならない保護者は大変だし、エコでない。本人に合うものであれば細かい規定は必要ないのではないか。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3123 質の高い教育環境の整備	<p>◇国の教材整備計画等を踏まえ、学習教材を計画的に整備し、児童生徒が効果的に学び成長できる環境を整えます。</p> <p>◇阿見町学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修等を計画的に実施し、さらにエコ改修などによる環境配慮型の学校施設整備を推進します。</p> <p>◇障害のある児童生徒等が、支障なく安心して学校生活を送ることができるよう、エレベーター設置などのバリアフリー化を推進します。</p>		<p>コロナ期間にプール学習を行えなかったため、プール施設が使用できない学校が多い。町に温水プールがあれば、年間で学校を割り当て使用できる。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>

細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
生涯にわたって学べる環境づくり	3131 生涯学習推進体制の強化と地域の実情に即した取組の充実	<p>◇若い世代の町民を対象に町の現状や課題、未来についての講座「あみ未来塾」を開設し地域のリーダーとして活躍する人材の育成を図ります。</p> <p>◇町内に立地する大学等から講師を招くなど、町の地域特性を生かした質の高い講座を行います。また、児童を対象として大学教授や専門家などを講師として招き、学校では学ぶことのできないようなレベルの高い講座を展開します。</p> <p>◇いきいき学びの町AM1推進会議の審議を経て、生涯学習施策の成果を評価するとともに、必要に応じて組織の効率化や組織体制の見直しを図ります。</p> <p>◇町ホームページやあみメール、スクリレ、SNSを活用した情報提供を推進します。</p> <p>◇人材バンク制度の充実を図るため、新たな人材の発掘や登録者数の拡大、登録者紹介の場の設定など、制度の周知を行います。</p>		<p>教育と学習の機会は、ゴール4になると思います。</p> <p>生涯教育、公民館活動等の推進に関して、充実した先進自治体においては、教育学の専門家や地方自治の実践的な研究者が地域住民と一緒に計画を策定している。例えば公民館活動のスタートは明治憲法を学ぶことから始まった。明治憲法下では国民は主権者ではなく臣民として憲法を学び公民館活動を始めたのである。現在は主権者としてどのような学びをし、活動するのかを主権者である住民が議論し、決定していくべき。</p> <p>図書館などの学修施設を充実させ、とくに書架と閲覧室と自習室と演習室を分けて、読みたい人、一人で学びを深めたい人、ともに議論したい人のニーズをワンストップで満たすような設備があると地域の文化センター、知の拠点としての役割を担えるようになるのではないかと。サロンのような場合は、本来は市民がカフェなどで自発的に作るべきではあるが、行政としては、児童生徒の学習だけでなく、生涯学習のために、スペースを確保しておくことは重要ではないかと。他方で、特定の施設に縛られないフィールドミュージアムは、昨今の法改正の趣旨でもあり、観光や町おこしも連係して行われる事例もあるなかで、阿見周辺の自治体とも連携すれば、非常に奥深いものになる潜在可能性を持っていると考える。様々な地域資源に価値付けができる大学などとの協力が不可欠であろう。</p> <p>主な事業に「社会教育委員会事業」と追記してはどうか。</p> <p>町ホームページ活用について、もっと利用しやすいホームページにするべき。</p>	<p>前述のとおり、SDGsのマークは仮置きであり、ゴール11と決定したわけではございません。今後の作業の中で、細節ごとに記載内容に応じたゴールの設定を予定しております。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3132 公民館・ふれあいセンターの充実	<p>◇町民がいつでも、どこでも、だれでも学べる機会の提供に努めます。</p> <p>◇町民ニーズや社会情勢に対応した多様なテーマの講座・教室の開催に努めます。</p> <p>◇対面式の講座と合わせて、ICTを活用したオンライン講座など時代に即した様々な学習方法を展開します。</p>		<p>各公民館の温度差、やる気の差があるため、「町民がいつでも、どこでも、だれでも学べる」ということが、ただの理想になっている現状をどうにか変えていってほしいと思います。町が主導した教室を各公民館で実施していただけると参加もしやすくなると思います。</p> <p>各公民館はもっと特色を持たせる必要がある。現状ではどこの施設も同じよう魅力に欠ける。利用しなくなる工夫が必要。例えば、防音設備、楽器の貸し出し、ジム、カラオケ、映画設備。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3133 ふれあい地区館活動の充実	<p>◇地域の実情・ニーズに合わせた集いや学びができるよう、各地区館で、公会堂や自治会館等で活動を行う「出前講座」を展開します。また、特色ある事業やイベントを実施することで、絆・地域づくりを促進します。</p> <p>◇各地域と連携を図り、実情に合わせた運営体制・組織体制を整え、活動の充実に努めます。</p> <p>◇ふれあい地区館活動を広くPRし、あらゆる町民の参加を促進します。</p>		<p>ふれあい地区館活動について、時代の流れに合うよう、若い方の意見を取り入れてほしい。</p> <p>「ふれあい地区館活動を広くPRし、あらゆる町民の参加を促進します。」を、「ふれあい地区館を通して地域コミュニティづくりの醸成に努めます。」と修正してはどうか。</p> <p>ふれあい地区館活動の拠点に、地域の寺を加えてはどうか。お盆行事を支え、地域のコミュニケーションの核機能を果たしている「寺」から、その会場としての利用または心の学びとして、何か情報発信するのはどうか。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
(続) 生涯にわたって学べる環境づくり	3134 図書館の充実	<p>◇空間（施設）・人（職員）・資料の三要素の充実を図るほか、多くの町民が図書館を利用できるように、様々なイベントや講座・教室等を実施するとともに、蔵書の充実や利便性の高いサービスにより、図書館サービスの充実を図っていきます。</p> <p>◇「子ども読書活動推進計画」に基づいて、絵本の読み聞かせやブックスタート等の各種のイベントや講座、施策等を実施して、より多くの児童生徒が自主的に読書に親しめるようにしていきます。</p> <p>◇絵画展、写真展、映画上映会、コンサート、イベント等を開催し、新規利用者を開拓するとともに情操教育の振興を図ります。</p>		<p>図書館に関しては毎年購入した分だけ本の整理を行っており近隣の市町村と比べても蔵書の数が少ない。これからは本の整理をしなくても良いように、デジタル書籍を広域で(茨城県も含めて)推進していくような計画を策定する必要がある。</p> <p>図書館に小さい子(赤ちゃん・未就学児)が室内遊びできるスペースがあると良い。例えば、千葉県香取市図書館LIBRARY みんなの賑わい交流拠点KOMPUSのように、カフェもあり、あらゆる年代の人がくつろげる空間。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3135 予科練平和記念館の充実	<p>◇様々な人に自ら命の尊さと平和の大切さを考えてもらうため、企画展や講演会など予科練の歴史や戦史に関する学習の機会を提供します。</p>		<p>「戦争遺跡の存在を町民へ広く周知させ、後世へ継承し平和教育の資とします」と記載してはどうか。</p> <p>「聴く力」を育む音楽の活用を加えてはどうか。静かに耳を傾け、自分に向き合う時間を提供する。良質なアコースティックな演奏。理由：写真・映像・言葉に集中し、平和を考える空間だからこそ必要と考える。</p> <p>予科練平和記念館を町内の学校でもっと活用すべき。授業で予科練平和記念館の見学に行くなど、阿見町の歴史をもっと子どもたちに知ってもらうべき。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>

細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
社会全体で取り組む教育の推進	3141 家庭教育への支援	<p>◇子育て世代への情報提供や各小・中学校に家庭教育学級を設置し、講演会や学習会などを実施することにより、保護者に対して学びの機会や相談・交流の場を提供します。</p> <p>◇教育月間には、共に育む「教育の日」として、広く町民を対象に教育講演会を開催するなど、学習機会を提供します。</p> <p>◇町内に定住し、奨学金の貸与を受けて大学等を卒業し、町内の対象職種・中小企業・社会福祉法人等において就業し、かつ阿見町に定住している若者に対し、奨学金返還金の一部を補助します。</p> <p>◇修学の意欲及び明確な目的意識があり、海外へ留学する町内に定住している若者に対し、費用の一部を留学支援金として補助します。</p>		<p>「教育月間において教育への関心と理解を醸成する取組を行います。」と記載してはどうか。</p> <p>教育全体に言えることですが、学びについてはそれぞれに悩みが違うと思います。今現在の学校については平均を目指すことでその平均から外れてしまった児童のやる気は少しずつなくなっているのではないのでしょうか。内容の理解度というのは各個人それぞれ違うことでしょう。しかし、今のままではとても先生だけで対応することが難しいことも理解しております。</p> <p>早急に小学校低学年から担任制とは別の学び方を実施することで、通えなくなる児童を減らせるのではないのでしょうかと考えます。</p> <p>奨学金返還金一部補助とは別に、学業優秀勤勉な中学生に進学のための奨学金を給付(貸与)するのはどうか。 理由:町の将来の担い手となるように。</p> <p>学習機会の提供について、大人がもっと学べる機会を増やす必要がある。 ・子育てについて(赤ちゃん未就学児向け、小中学生向け、高校生大学生向け) ・不登校になったら ・ひきこもりになったら ・子どもの健康について ・食育 ・スマボ、ゲーム、SNS もっと頻繁に専門家を呼んで学習する機会をつくる必要がある。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3142 地域の教育力の向上	<p>◇子ども会育成連合会の主催事業により、学区を超えた連携を推進し、地域・家庭・学校・行政が一体となるネットワークづくりを促進します。</p> <p>◇高校生会を組織し、子ども会活動や地域の催しへの参加を促すとともに、町事業等でのボランティア活動や自主的な取り組みを促進します。</p>		<p>従来型の役割分担が固い子供会ではなく、時代に合わせてもっとゆるやかな繋がりや構成する集まりを認め、その不安定な活動水準や参加を認めながら、負担感の少ない組織作りを目指してはどうか。名称も「〇〇クラブ」でもよいし、住む地域よりも価値観や子育てで共感できる人々の集まりの方が、活動は熱心に行われる傾向にある。 故郷を別に持ち、共働きの核家族家庭を前提に、その子どもたちを学校外の地域でどうつなげるか、考えるべき時期にあるのではないか。</p> <p>登下校の子どもの安全を守るため、特に下校時の見守り隊の組織化を図ってほしい。 理由:学校によって差がある。</p> <p>中学生会はないのか。小学生は子ども会があるが、中学生会がないと高校生会に繋がらないのではないか。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3143 青少年健全育成・体験活動の推進	<p>◇地域住民や団体などが各小・中学校と連携を図り、子どもたちに自然体験、社会体験等の機会や学びの場、ふれあいの場を設け、豊かな体験活動の機会を提供します。</p> <p>◇青少年相談員の地域パトロールや活動PRを行い、地域連携の強化を図ります。</p>		<p>自然体験・社会体験について、現在も行われているが、町内にももっとたくさんの団体や企業があるので、もっと機会を増やすべき。 理由:いつも同じ団体や企業ばかりに感じる。例えば団体や企業にアイデアコンテストを行なってもらう。</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3144 人権尊重の視点にたった生涯学習の推進	<p>◇誰もが多様性を認め合い、誰一人差別されることのない社会を目指し、人権に関する様々なテーマの講演会を開催することで人権教育を推進します。</p>			

細節	個別施策	個別施策の展開	目指すまちの姿を実現するための個別施策の印象	委員からの意見	事務局補足
スポーツの振興	3151 活力ある生涯スポーツの振興	<p>◇より多くの町民がスポーツを身近に感じる機会として、あみスポーツフェスタや町民マラソン大会など町民が自由に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツ活動の普及・啓発を図ります。</p> <p>◇町民だれもが日常的かつ継続的にスポーツに取り組むことができるよう、町民のライフステージやライフスタイル、障害の有無に応じたスポーツ教室などを開催し、参加機会をさらに増やしていきます。</p> <p>◇生涯スポーツの拠点として学校体育施設を開放し、町民が快適にスポーツレクリエーション活動に施設を利用できるよう支援します。</p>		<p>包括的なイベントやプログラムを通じて、多様な人々が交流できる場を提供することは、ゴール10とゴール11に通じることと思います。</p> <p>霞ヶ浦など、阿見らしい特長を活かしたスポーツやレクリエーションの振興ができればよいのではないかと。</p> <p>学校に通えない児童はスポーツをするチャンスもなくなります。有料でもよいので、定期的に体を動かせる機会を作っていただきたいと思えます。</p> <p>ただし、以下について検討していただきたい。 「活力ある生涯スポーツの振興」について、超高齢化社会において、健康寿命の伸長は医療費削減、本人や家族の幸福度向上にとって非常に有効である。 現在実施されている「シルバーハビリ体操(町高齢福祉課、町内26か所)」のさらなる広報・振興を図っていただきたい。</p>	<p>前述のとおり、SDGsのマークは仮置きであり、ゴール11と決定したわけではありません。今後の作業の中で、細節ごとに記載内容に応じたゴールの設定を予定しております。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3152 スポーツ施設の充実	<p>◇施設の適切な維持管理・保守点検・修繕を行い、町民が利用しやすい環境を提供します。</p> <p>◇旧学校体育施設の適切な維持管理を行い、町民が利用しやすい環境を提供します。</p> <p>◇総合体育館や屋内プールなどの新たな施設や既存施設への新規設備については、財政状況を把握しながら検討していきます。</p>		<p>総合体育館や屋内プールなど新規施設については、財政状況を把握しながら検討、とあるがこれは具体的なプランなのか？ 現在の段階にあるものを個別施策としているのでしょうか？</p> <p>温水プールを町内につくるべき。町内各校プールの老朽化が激しいため、町民も自由に使用できる温水プールをつくり、授業に活用すべき。</p>	<p>当日ご説明いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
文化芸術活動の推進と文化財保護	3161 文化芸術活動の推進	<p>◇芸術展実行委員会を組織し、文化協会登録団体や社会教育関係団体等で活動する団体、個人で創作活動を行っている町民に広く作品を募集します。また、身近な芸術に触れる機会をつくり、町民の文化芸術活動への興味関心を醸成します。</p> <p>◇阿見町史編さん委員会を設置し、町の歴史・文化について調査研究を進めます。また年報となる町の歴史や新たに判明した事柄等を補完する町史研究を刊行し、町の歴史・文化を紐解くとともに、その成果を町民に還元します。</p> <p>◇戦跡を保全し、適切に後世に残し平和教育の資産としていくため、戦跡の現況確認調査を行い、戦跡の保管状況等を集積します。また、所有者との連携をとり保全策を検討できる体制づくりを目指すとともに、テーマに沿って見学できるよう普及啓発を行います。町の近代化の歴史を語る上で欠かすことのできない海軍航空隊について、学びやすい環境を整えます。</p>		<p>地域の誇りと地域アイデンティティの強化はゴール11とゴール17になると思います。</p> <p>平田オリザの書籍にある若者が言う「つまらない街」は、文化を感じられない街である。働いて生活するだけでなく、そこで遊び、特徴ある文化を楽しむ、歴史ある地域に暮らすことへの思いを持つことは、数値化できないが重要な要素になっている。方向性はこれだよいと思うので、所有者等の理解を得て、「阿見のお宝100選」のように街の財産として認定する制度づくりなど、ブランディングに注力してはどうか。</p> <p>外部に発信することを強化することで、町の文化、魅力を外部に認知してもらう事に繋がり、それがまた町民にとって、自分の町の文化や魅力に気づく、町に誇りを持つことにつながるのではないかと。</p> <p>「郷土資料を収集し、風化させない取組を行います。」と記載してはどうか。</p> <p>町史編さんと戦跡保全について、小・中学校と連携すべきと考えます。</p>	<p>前述のとおり、SDGsのマークは仮置きであり、ゴール11と決定したわけではありません。今後の作業の中で、細節ごとに記載内容に応じたゴールの設定を予定しております。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>
	3162 文化財保護・活用	<p>◇伝統文化の継承については、担い手の掘り起こし、記録の作成、発表の場の提供に努めます。</p> <p>◇指定文化財については所有者等と協議を行い必要な修繕等がなされるよう調整します。また、総合的視点からの保存・活用を進めていくため、「文化財保存活用地域計画」の策定や保管・収蔵について検討を進めるとともに、未指定の文化財については調査・研究を行い、価値に基づき新たな文化財に指定します。</p> <p>◇周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等に際し、法律の趣旨に基づき必要に応じて発掘調査等を実施します。また、調査成果等を発表し、広く普及啓発を行うことで、文化財保護に対する興味関心を醸成します。</p>		<p>外部に発信することを強化することで、町の文化、魅力を外部に認知してもらう事に繋がり、それがまた町民にとって、自分の町の文化や魅力に気づく、町に誇りを持つことにつながるのではないかと。</p> <p>ただし、以下について検討していただきたい。 「文化財保護・活用」について、町民が町に誇りを持ち郷土愛を醸成するために、郷土の歴史・文化財を知ることが非常に重要で効果的と考えます。 町の指定文化財(生涯学習課、県指定3件、町指定20件)のさらなる広報・活用を図っていただきたい。 (例:一定期間・定期的な情報発信、イベント開催)</p>	<p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p> <p>個別施策へのご意見として、検討いたします。</p>